

| | |
|--------|---|
| 学科名 | マンガ・アニメーション科四年制 |
| コース名 | キャラクターデザインコース |
| 授業科目 | 描画技法 1A |
| 必選 | 選6 |
| 年次 | 3年次 |
| 実施時期 | 前期 |
| 種別 | 実習 |
| 時間数 | 45 |
| 単位数 | 1 |
| 担当教員 | 青木 紀明 |
| 実務経験 | 有 |
| 実務経験職種 | イラストレーター |
| 授業概要 | この科目を受講する学生は就職活動に向けてゲーム業界の仕組み、求められる人材、業界に入るためには必要な基礎ビジネススキルを学習する。授業内グループ・ワークでは他者との意見交換を積極的に実施し、コミュニケーション力、聞く力、ディスカッション力、プレゼンテーション力の向上を目指し、ビジネススキルの習得と向上を学習目標とする。 |
| 到達目標 | ゲーム業界の知識、職種を学ぶとともに、必要な人材となる為の表現力を高めます。 |
| 授業方法 | この授業では、1つの内容に対し「レクチャー」→「個人ワーク」→「グループワーク」→「プレゼンテーション」の流れで学ぶ。まずはレクチャーで基本的な知識や考え方を身に付け、個人ワークで実践することで学びをより深いものとする。その後プレゼンテーションでほかの学生との意見交換を通じ発想力を広げ、プレゼンテーションで発表することで広げた発想力を定着されると同時に、他グループの発表を聞くことで発想力をさらに広げる。 |
| 成績評価方法 | 課題 60% 課題の内容や発想力を総合的に評価 成果発表 20% 発表内容や構成力を総合的に評価 平常点 20% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価 |
| 履修上の注意 | この授業では、1つの内容が連続して行われるため、欠席するとその後の個人ワークやグループワークに影響が出てしまう。また先生の話はもちろん、他学生とのディスカッションも授業の一環なので真剣に聞くこと。個人ワーク、グループワークの際は資料検索の為にスマートフォンやタブレットの使用を許可する。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。 |
| 教科書・教材 | 毎回授業にて資料配布を行う 参考資料等は授業中に指示をする |

| 授業計画 | |
|------|-------------------------------|
| 第1回 | デザイナーに求められる思考 |
| 第2回 | キャラクターの容姿デザイン01 |
| 第3回 | キャラクターの容姿デザイン02 |
| 第4回 | キャラクターの容姿デザイン03 |
| 第5回 | アジア地域の美術Ⅰ -中国芸術の成立まで- |
| 第6回 | アジア地域の美術Ⅱ -中国芸術の成立まで- |
| 第7回 | アジア地域の美術Ⅲ -中国の仏教美術、山水画と日本への伝播 |
| 第8回 | アジア地域の美術Ⅳ -中国の仏教美術、山水画と日本への伝播 |
| 第9回 | アジア地域の美術Ⅴ -日本の美術 |
| 第10回 | アジア地域の美術Ⅵ -日本の美術 |
| 第11回 | 映像研究 / 過去の優れた作品から考察01 |
| 第12回 | 映像研究 / 過去の優れた作品から考察02 |
| 第13回 | 映像研究 / 過去の優れた作品から考察03 |
| 第14回 | 映像研究 / 過去の優れた作品から考察04 |
| 第15回 | 映像研究 / 過去の優れた作品から考察05 |